



部の愛称の頭文字「J」のサインで決める選手たちと中居顧問(後列左)、中村教頭

日本選手権で最高演技を

八学光星チア部
本社支社で誓う

八戸

7月上旬に宮城県岩沼市で行われたチアリーダーینگ日本選手権の東北地区予

選で2年連続9回目の優勝を果たし、8月18〜20日の同選手権(東京)出場を決めた八戸学院光星高校チアリーダー部のメンバーらがこのほど、報告のため東奥日報社八戸支社を訪れた。一行は「最高舞台で最

高演技を見せる」と、日本選手権での健闘を誓った。東北予選には高校や大学など8チームが出場。八学光星は部員23人中16人で臨み、規定、自由とも1位を獲得して総合優

勝した。県勢では弘前学院聖愛高校が総合3位、東奥義塾高校が同8位だった。支社を訪れたのは副主将

の高橋渚さん、佐々木沙耶さん、立崎緒美さん、八島日向子さんの3年生4人と中居千世顧問、中村良寛教頭。「東北での総合優勝は狙っていた」という高橋さんだが、今年初めて自由演技に取り入れた大技がまだ不安だったため、本番直前に技の難度をやや下げて失敗のリスクを回避した。「メンバーで話し合い、本番では確実性を取った。悔しくて涙が出た」と八島さん。苦渋の決断だったが、それでも他を圧倒する演技で堂々の優勝を果たした。4人は高校生として最後になる日本選手権で、東北

予選で諦めた難度の高い大技に改めて挑戦し、全力の演技を披露するつもりだ。「大技はもちろん、ダンスやモーションにも磨きを掛け力強さを出したい」と、メンバーを代表して決意を語った高橋さん。「全国のレベルは高いが、自ら演技を楽しみ、持っているものを全て出し切る」と力を込めた。

(若松清巳)